

2026年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『世界一幸せな国』フィンランドの高齢者福祉とはー

研修のテーマ・企画ポイント

フィンランド在住歴32年、高齢者福祉と教育の現場で長年視察プログラムや交流アシスタントを担当してきたコーディネーター、ヒルトゥネン久美子さんが講師を務めます。画像や動画を用いたレクチャーや福祉施設の現場で働くスタッフのインタビューを通して、「世界幸福度ランキング」8年連続1位を誇る北欧の小国、フィンランドの高齢者福祉の現状と課題を詳しく解説します。

- 1 久美子さんの人生観を変えた重度認知症高齢者施設「ヴィッラ・タピオラ」。最期まで自分らしく生きる施設での取り組みをご紹介します。
My介護士制度、自己決定権、日頃のアクティビティ
- 2 昨年、大手企業の傘下に入った「ヴィッラ・タピオラ」。その変化の中で、何が新しくなり、何が変わらずに守られているのかー現場スタッフの声を通して、現在地を探ります。
- 3 入居者の日常を垣間見る写真、ビデオを多数ご用意。(個人情報に厳しい北欧諸国において、入居者が写る資料は大変貴重です。)
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場スタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

ヒルトゥネン 久美子氏

オンライン研修の
経験も豊富！



フィンランド在住歴32年。全日空、フィンランド航空客室乗務員を経てフィンランドに移住。
2003年にKH Japan Management Oy(KHジャパンマネージメント株式会社)を設立、代表を務める。

教育、保育、福祉分野を専門とし、通訳、視察・プロジェクトのコーディネート業務を担当。
担当件数は年間約30件、これまで7,000人に及ぶ日本の方々からフィンランドを紹介してきた。本物のフィンランドを日本に紹介し、日本の未来構築に貢献することをミッションとしている。

【見学施設】

Attendo Villa Tapiora
＜アッテンドウ ヴィッラ タピオラ＞

高齢者が最期まで自分らしく生きることができる重度認知症高齢者施設。そのサービスの質は高く評価されており、2021年には国連の高齢者人権調査団が視察に訪れた。首都ヘルシンキに隣接するエスポー市にある。2025年3月、北欧諸国で大々的に福祉事業を展開するAttendo社の傘下に入った。



1日目：講義

日時：2026年9月24日(木)
日本時間 16:00～18:00

- フィンランド高齢者福祉の概要
北欧の小国が高福祉国家となり得た背景には貧しい国の歴史と自然環境が大きく影響しています。文化的背景をふまえ、解説します。
- 福祉サービスについて
- 2日目の高齢者施設の概要説明
- 質疑応答

2日目：高齢者施設見学

日時：2026年9月29日(火)／9月30日(水)
日本時間 16:00～18:30

- ※2グループに分けて実施する予定です。
日程については決定通知でご確認ください。
- ※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

- 「ヴィッラ・タピオラ」で実践している取り組み
事前に録画したビデオをご覧ください。
現場から学ぶ成功例、「本当に必要なサービスとは？」
My介護士制度、自己決定権、入居者の日々の様子などを
ご説明します。
- 大手企業の傘下に入った「ヴィッラ・タピオラ」の
“現在地”とは？
- 質疑応答

オンライン会議システム「Zoom」を使用します



2026年度 民間社会福祉施設職員等オンライン海外研修・調査 『ノーマライゼーション先進国』スウェーデンの障害者福祉とは一

研修のテーマ・企画ポイント

『福祉先進国』として名高いスウェーデンの障害者福祉は実際どのように機能しているのでしょうか。ノーマライゼーションの考え方が社会に浸透し、『自己決定』と『自立支援』に重きを置くという、この国ならではの概念に基づいたケア方法、アプローチの仕方、そして福祉サービスについて、分かりやすく解説します。

- 1 過去リアル版の海外研修・調査に同行し、高評価を得たコーディネーター兼通訳のエーミル・オストベリ氏のご案内します。
- 2 施設見学の回では、LSS法に基づく生活支援施設（グループホームやデイアクティビティセンター）における支援や具体的な取り組みをご紹介します。
- 3 実際の視察しながらに施設の雰囲気を感じられるよう、訪問者目線のビデオで施設内の様子をご覧ください。
- 4 ライブ中継なので双方向のコミュニケーションが可能！コーディネーターや現場スタッフとリアルタイムで交流できます。

コーディネーター兼通訳

エーミル・オストベリ氏



オンライン研修の
経験も豊富！



スウェーデンを訪れる日本の視察団の通訳・講義を行う他、年に数回日本を訪れ、スウェーデン大使館、大学、病院などで自らの流暢な日本語を駆使し、スウェーデンにおける高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉についての講演活動を行っている。

【見学施設一例】

Astrakan daglig verksamhet
＜アストラカン デイアクティビティセンター＞



文化活動、音楽、運動、感覚刺激など多様なプログラムを提供している。
←陶芸、絵画、手芸などを楽しむことができるハンドクラフトアトリエ

※見学施設名の確定は2週間前頃となります。

LSS法とは…

スウェーデンで1994年に制定された「特定の機能障害を持つ人への支援とサービスに関する法律」で、障害者が他の市民と同じ条件で生活できるよう、自己決定権を尊重しながら必要な支援を提供することを目的としている。

1日目：開講

日時：2026年10月8日(木)
日本時間 16:00~18:00

テーマ スウェーデン障害児・者福祉の現状

- スウェーデン障害児・者福祉の概要とその発展の歴史
- スウェーデン福祉の理念
- LSS法に基づくサービスについて
グループホーム/デイアクティビティセンター/住宅改修/パーソナル・アシスタンス/コンタクトパーソン/ハビリテーションセンター/経済的支援 など
- 2日目の障害者施設の概要説明
(事前に録画したビデオをご覧ください)
- 質疑応答

2日目：障害者施設見学

日時：2026年10月15日(木) / 10月16日(金)
日本時間 16:00~18:30

※2グループに分けて実施する予定です。

日程については決定通知でご確認ください。

※最後の30分は受講者同士の交流の時間とします。

テーマ LSS法に基づく生活支援施設における障害児・者への支援について

- グループホームやデイアクティビティセンターでの取り組み
スマーズレン/ハプティックセラピー/低刺激対応/各種アクティビティ など (施設職員による説明)
- スタッフ教育、家族との関わり方
- 質疑応答

オンライン会議システム「Zoom」を使用します

